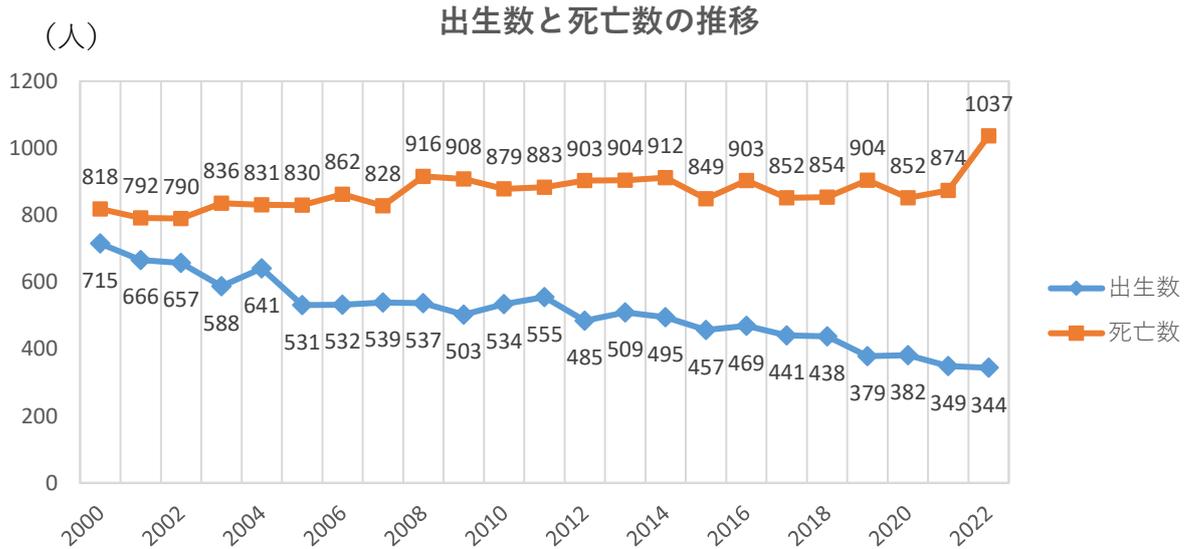


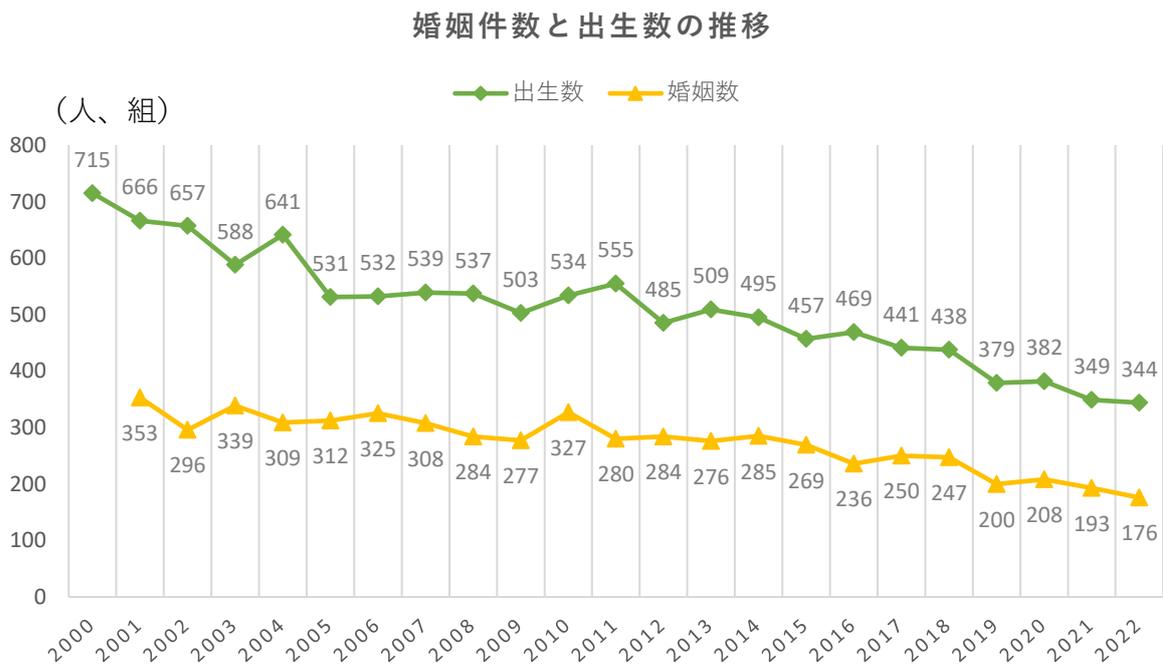
## 丹波市の人口動態の分析について

### 1 出生数・死亡数・婚姻数の推移

- ・出生数は2019年以降、300人台となっており、年々減少傾向にある。2022年は344人と、2021年と比較するとわずかながら減少している。
- ・出生数の減少は、婚姻件数の減少とおおよそ比例しており、新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた2019年には大きく減少している。
- ・死亡数は1,000人を超え、2021年に比べ大きく増加している。



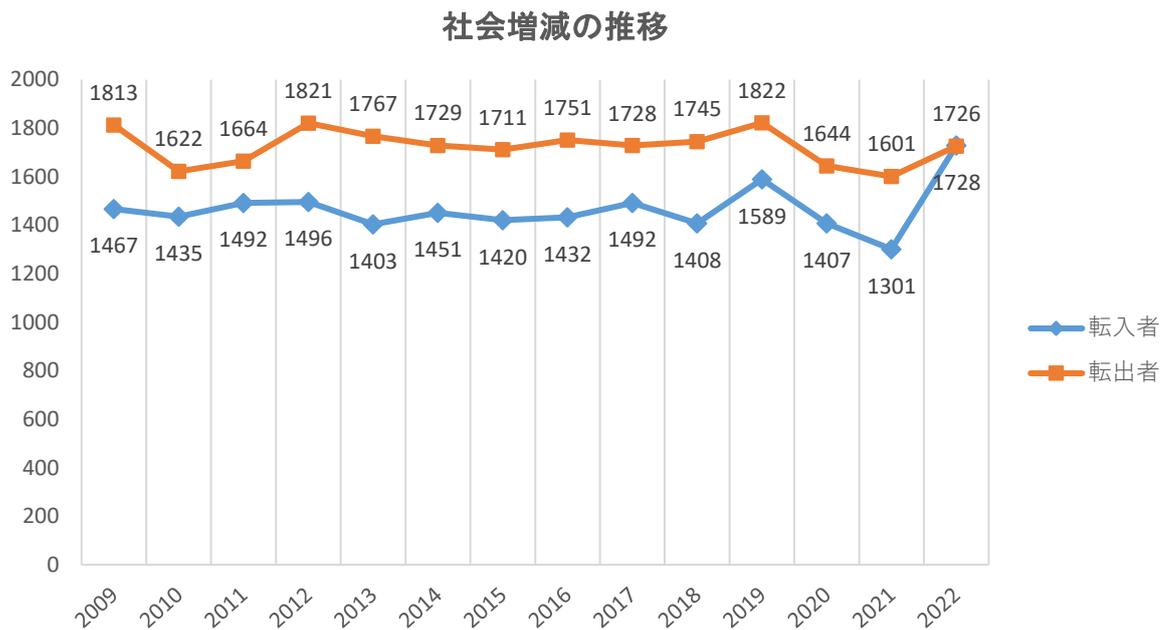
出典：2000-2022 丹波市住民基本台帳（1月～12月）



出典：2000-2021 県保健統計年報、2022 丹波市住民基本台帳（1月～12月）、2022 人口動態調査（1月～12月）

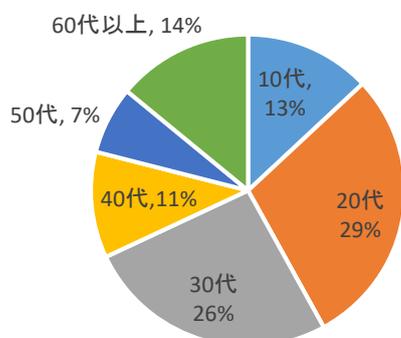
## 2 社会増減の推移

- ・転入者数・転出者数ともに近年は横ばい傾向にあり、200～300人の転出超過の状態が続いていたが、2022年は転入者が大幅に増加し、2人ではあるがはじめて転入超過となっている。
- ・転入者を世代別にみると、2022年度は2020年度と比べ、20代の割合が増加しており、20代、30代を合わせると全体の6割を占めている。
- ・転入者を男女割合でみると、2022年度は男性の55%に比べ女性が45%と少なくなっており、第2期丹の里創生総合戦略が始まった2020年度と比較しても女性の割合が更に少なくなっている。



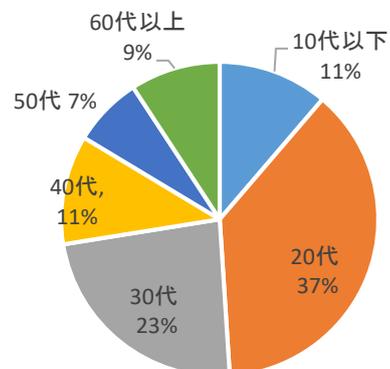
出典：2009～2021 兵庫県の人口の動き、2022 丹波市住民基本台帳（1月～12月）

転入者の世代割合（2020年度）



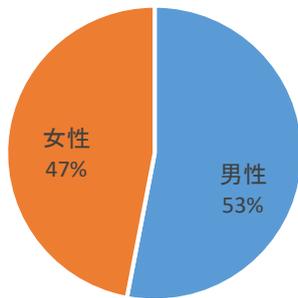
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

転入者の世代割合（2022年4月～12月）



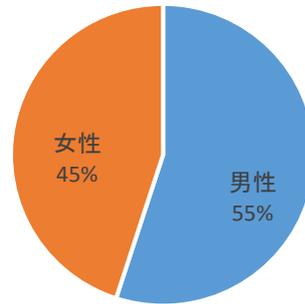
■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

転入者の男女割合(2020年度)



■ 男性 ■ 女性

転入者の男女割合(2022年4月～12月)



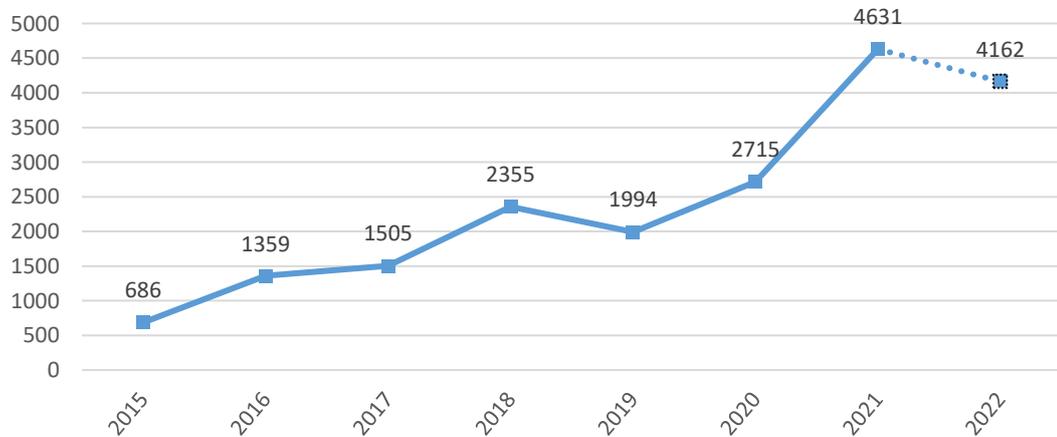
■ 男性 ■ 女性

出典：丹波市住民基本台帳

### 3 移住相談窓口の状況

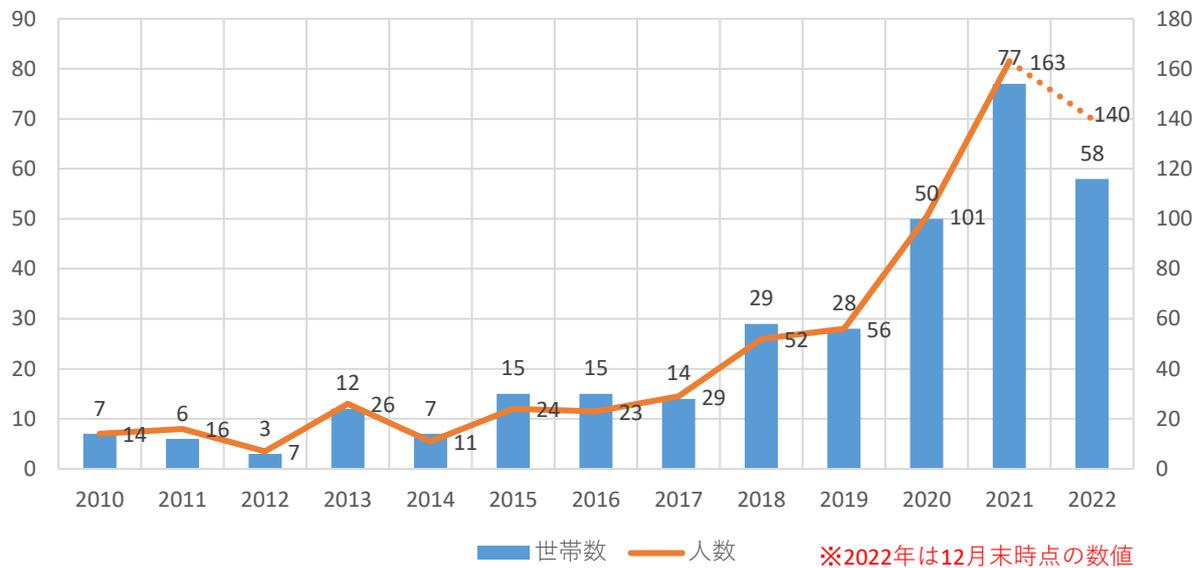
- ・移住・定住促進に取り組んで以降、移住相談件数・移住実績ともに順調に増加している。移住相談件数・移住者数ともに今年度12月末時点で昨年度末の実績に近づく勢いとなっており、相談者数は上半期の時点で昨年度末を大きく上回っている。
- ・移住者を世代別にみると、30代以下が占める割合は42%となっており、2020年度と比較すると、若い世代の移住が増加している。
- ・相談者の年齢層は、昨年度と変わらず40代で高くなっているものの、全体の割合で見ると30代では微増、50代では減少となっており、全体的な相談者の若年化がみられる。

移住相談件数(年度別)

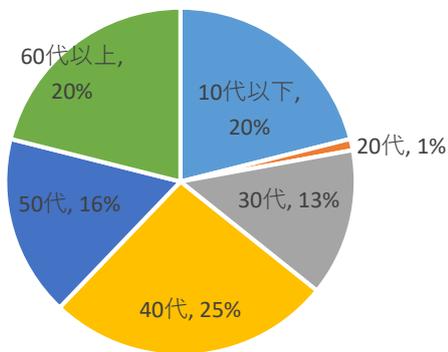


※2022年は12月末時点の数値

丹波市の移住相談窓口を通じた移住数の推移（年度別）

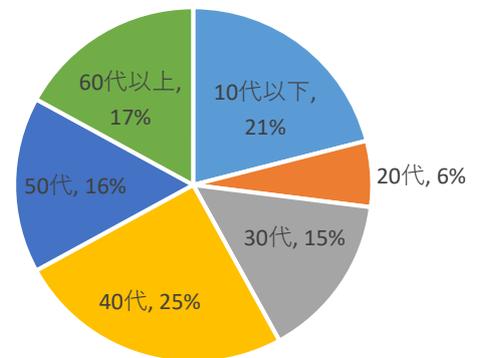


移住者の世代割合（2020年度）



■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

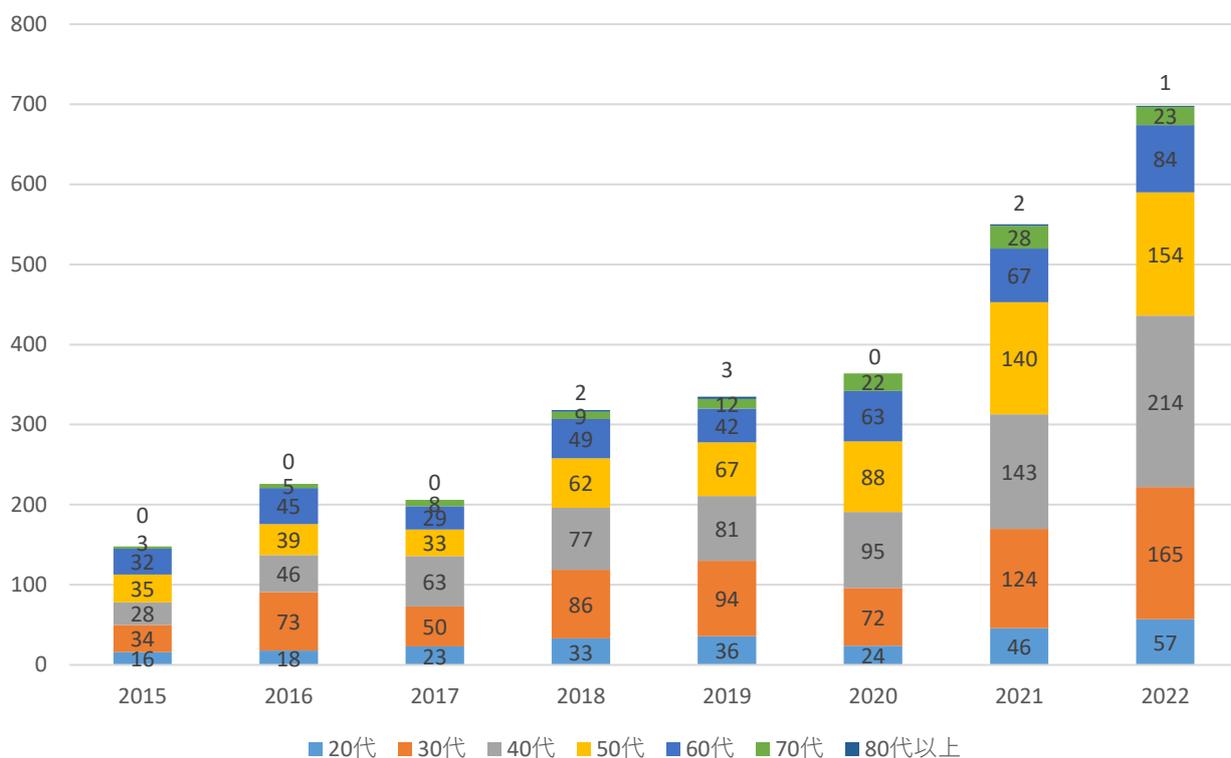
移住者の世代割合（2022年12月末時点）



■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

出典元：ふるさと創造部ふるさと定住促進課

## 移住相談 年代別推移（年度別）



※2022年は9月末時点の数値

2017 年齢不明 40人

2018 年齢不明 63人

2019 年齢不明 28人

2020 年齢不明 5人 10代が1名

2021 年齢不明 8人

2022 年齢不明 9人

出典：たんば“移充”テラス令和3年度活動報告書

たんば“移充”テラス令和4年度上半期活動報告書（2022年）